



京都市ごみ減量推進会議
市民等からの提案による
ごみ減量モデル事業

事業報告

NPO法人 地域共生開発機構
ともつく

副代表 小川敬之

事業名

ペットボトル花風車や缶バッチ、
廃材アートが創る多世代交流の場

キーワード：ペットボトル、多世代交流、コミュニティづくり
主な実施場所 京都市右京区嵯峨学区

ゴミ減量の意識の醸成と 多世代交流のあるコミュニティの創生を行う

- NPO法人 ともつくが実施する地域づくり活動の一環である多世代交流イベントにおいて、ペットボトルや廃棄する布などを利用して行う活動を実施。
- 具体的にはペットボトルでひまわり、百合などに似せた花風車を作成する。
- また缶バッチ作成や破棄する布を使用したオーナメント作成など、それらのイベントを通して多世代が交流するコミュニティ作りの推進を行う。
- 同時にペットボトルや破棄する布など、ゴミ再利用に向けたレクチャーも行い、ごみ減少の意識の醸成も図っていく。

NPO法人 地域共生開発機構 ともつく

ともつくとは？

ともつくは京都市右京区嵯峨学区にあるクリエイティブハウス「ともつく」という一軒家を拠点に活動するNPO法人です。

誰もが地域で共生できる、そんな暮らしを「ともにつくる」、をコンセプトに2020年に設立されました。高齢者の社会的孤立や高齢者就労などの社会課題と向き合い、地域に根付いた活動を行っています。

ともつくの活動

- クリエイティブハウス「ともつく」を拠点とした、地域住民の居場所づくり
- 誰もが社会に参加するために「働く」の仕組みと機会を提供

令和4年5月



お問い合わせ

メール：tomo@tomotsuku.jp

住所：京都市京都市右京区嵯峨野

電話：〇〇〇 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇



NPO法人
地域共生開発機構

ともつく

取組内容一

コロナ禍で実施できた活動は限られたが・・・

今回、ペットボトルの再利用、空き缶や廃棄する布などの活用、そしてゴミ減量の意識を高めるためのレクチャーなどを行うイベントを3回企画しました。

当初計画していたイベントや活動もコロナ禍で延期、中止になることもありましたが、ペットボトル風車のイベントは1回開催することができました。また、他の活動（おもちゃ病院の実施、木箱の作成）も細々と実施することができました。


さらに休憩時間にショートレクチャーでゴミ減のプレゼンなどを実施しました。

イベント チラシ

- 社会福祉協議会
- 包括支援センター
- 地域住民の方々等に配布



ワークショップ

風にくるくる回る 

9/26

10:00-

14:00



場所：F邸



誰でも参加可能！

ペットボトルで 花風車を作ろう！

※ ゴミについての豆知識講座もあるよ！

見に来るだけでもOK!

ゴミ減量モデル事業（助成金事業）

成果—コミュニティとしての認知度の向上に寄与

●ペットボトル風車の作成

破棄されたペットボトルを学生がきれいに洗浄したものを持参して製作に取り掛かりました。ひまわりや百合などの花風車の作成は時間がかかるので、今回は事前に用意したコスモス（小さな風車）の作成を行いました。

ペットボトルが花の形をした風車に変わること「こんな使い方があるのか」と驚く参加者もいました。参加者は11名（内子供2名）で、それぞれに工夫をして自分なりの風車を作成していました。



成果—コミュニティとしての認知度の向上に寄与

●ごみ減量に向けた意識の醸成（レクチャー）

ペットボトル風車の作成がほぼ終了した後、風車の材料となったペットボトルやプラスチックゴミが環境にどのように影響しているのかのショートレクチャーを行いました。

海やその他の環境がペットボトルやプラスチックゴミにより具体的にどの程度汚染されているのかを数値で提示し、自分たちだけでなく子供世代、孫世代にどのように影響をしていくかの具体例をあげて提示したことは、参加者も真剣に聴講しており、ゴミに対する関心を強めたように感じました。



その後、第2回目を企画していましたが・・・

新型コロナウイルス (COVID(コビット)-19)

しかし、

できることを
やっつけていこう！



コミュニティ カフェ

日時 2022年1月16日（日） 10:00～14:00

場所 クリエイティブハウス京都F 邸
京都市右京区嵯峨観空寺岡崎町15-8

飲み物：¥200 誰でも気軽にきてください。

同時開催①

京都SKYおもちゃ病院による
受付は、11時～13時です。
修理無料。「おもちゃの修理」

赤い看板が
目印



ココです



同時開催②

おしごと体験（裏面参照）

同時開催③

振る舞い餅

主催 NPO法人 地域共生開発機構ともつく

連絡先 代表：河本（こうもと）

令和4年5月

助成：右京区まちづくり支援制度、ごみ減量モデル事業、
地域ケア活動支援事業

ゆる～く

おしごと してみませんか？

“木箱の組み立て”のお仕事です。

手順は「専門家 ✨ が
ゆっくり、丁寧に教えまーす！

誰でも参加可能です。

日時

令和4年1月16日（日）
10:30～

場所

クリエイティブハウス京都F 邸
京都市右京区嵯峨観空寺岡崎町15-8



カラスミなど、
高級食材が
入る箱



お待ちしております。

京都橘大学の先生が指導します！



木箱作成

ゴミに関する レクチャー

- こじんまりとした仕事の活動を実施し、将来廃材を活用した就労的活動に結びつけられないかのトライアルを行ないました。





令和4年5月



イベントを大々的に行うことができなかった代わりに、来られる人は拒まずの姿勢で「おもちゃ病院」の取り組みとコラボさせていただきました。

周辺住民の参加とおもちゃの修理に持ってきた子供達との緩やかなふれあいがありました。

まとめ

- ペットボトルの風車、布の廃材活用、缶バッチの活動をなど計画した。
- コロナ禍で活動が思うように実施できなかったが、1回のペットボトル風車作成と就労的活動、2回のゴミ減量に関するレクチャーを実施した。
- 周辺住民の方々、社会福祉協議会、包括支援センターと協力し、少ない人数であったが活動を実施することができ、地域のコミュニティ育成に寄与できたのではないかと考えている。
- また、おもちゃ病院の団体とコラボすることで子供達の出入りも活発化し、その場の雰囲気も和み、こられている方々の笑顔も多かった。様々な組織と連携し、ごちゃ混ぜなコミュニティの活性化を推し進めていくことが大切だと思われる。
- 今後は、コミュニティの活性化とともに、その中でゴミ減量に対する意識の醸成や具体的な行動が起こせるような仕掛けが次のミッションだと考える。